

1. 学校教育目標

「**学びあう** 心ゆたかな じょうぶな子」の育成

学校教育理念


こども達の ゆたかな 未来のために

教育スローガン

浦小スタイル！ みんなで元気！（浦賀小学校教育スタイル）

短・中・長期目標

めざそう 一人ひとりの いちばん星 ☆彡

<p style="text-align: center;">＜見える化“5つの学校像”＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「浦小スタイル」が見える学校 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標の実現を目指す。 ② 「いちばん星」が見える学校 <ul style="list-style-type: none"> ・目標を設定し、可能性を引き出す。 ③ 「生きる力」が見える学校 <ul style="list-style-type: none"> ・わかる！できる！自己肯定感を育む。 ④ 「共創共育」が見える学校 <ul style="list-style-type: none"> ・地域と共に創り、地域と共に育む。 ⑤ 「安全安心」が見える学校 <ul style="list-style-type: none"> ・生命を尊び、生命を守る。 	<p style="text-align: center;">＜育みたい“5つの児童力”＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「主体力」★主体的に物事を考え、自ら表現する児童 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的、対話的で深い学びを学習の柱とした力の育成。 ② 「追究力」★深く物事を考え、続けていく児童 <ul style="list-style-type: none"> ・立体的追究（深く広く長く）・有用感の意識育成。 ③ 「対話力」★対話的に物事を考え、協力しあえる児童 <ul style="list-style-type: none"> ・学び合い、認め合い、高め合う集団を目指す力の育成。 ④ 「自律力」★決まりの意義理解、ルールを守る児童 <ul style="list-style-type: none"> ・きまりの意義理解と規範意識を柱とした力の育成。 ⑤ 「健康力」★思いやりのある心、じょうぶな身体の児童 <ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進と体力の向上を生活の柱とした力の育成。
<p style="text-align: center;">＜めざすべき“5つの教師像”＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「学師」自ら学び・成長し続ける教師 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的、対話的で深い学びを柱とし、児童の力を引き出す教師。 ② 「唯師」自分だけの世界に胸を張れる教師 <ul style="list-style-type: none"> ・いちばん星（将来像）を引き出し、児童の自己肯定感を高める教師。 ③ 「相師」自分と同じく相手を大切にする教師 <ul style="list-style-type: none"> ・学び合い、認め合い、高め合う集団を目指し、相手意識を高める教師。 ④ 「律師」児童のロールモデルとなれる教師 <ul style="list-style-type: none"> ・きまりの意義理解と規範意識の醸成を目指し、児童に魅せる教師。 ⑤ 「健師」自分の心と身体のバランスの取り方を知る教師 <ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進と体力向上を生活の柱とし、向上させる教師。 	<p style="text-align: center;">＜校章＞</p> <ul style="list-style-type: none"> * 3本の扇（おうぎ） * 扇は浦賀港の別名「扇の港」を表す * 三浦（みうら）の3 * 花は八重桜 <div style="text-align: center;">  </div>

2. 学校経営方針の基本的な考え ～ 学校教育目標の実現に向けて ～

(1) 子どもの学びを豊かにする。〈5つの子どもの力〉

- | |
|---|
| ① 「主体力」 について → 「主体的、対話的で深い学び」を学習の柱とする力。
a) 学びあう力を育むために必要な力の定着。(基礎的・基本的な知識・技能)
b) 学びあう力を生かすための学習習慣の確立。(授業ルールの習慣化・系統化)
c) |
| ② 「追究力」 について → 「立体的追究(深く広く長く)・有用感」意識育成力。
a) 深い学びを評価し、指導者間で共有することで児童の自己有用感を高める。
b) 行動実践と継続を重視することで、立体的に追究する力の意識を高める。
c) |
| ③ 「対話力」 について → 「学び合い、認め合い、高め合う集団」を目指す力。
a) 集団活動を通して、適切に伝える力や適切に理解する相手意識を育成する。
b) 人・物・自然に対して、思いやる心の力と協働できる行動力を育成する。
c) |
| ④ 「自律力」 について → 「きまりの意義理解と規範意識」を柱とする力。
a) 決まりの意義を理解し、自主自律の精神と集団活動での協調性を育成する。
b) 基本的な生活習慣を自分事として受け止め、習慣化したいという意識を高める。
c) |
| ⑤ 「健康力」 について → 「健康の保持増進と体力の向上」を生活の柱とする力。
a) 食育・健康教育を通して、心身の健康の理解と維持管理の意識を高める。
b) 外遊びの奨励等、運動に親しむ機会を増やし、児童の体力向上に努める。
c) |

(2) めざすべき“5つの教師像”

- | |
|---|
| ① 「学師」 について → 「主体的、対話的で深い学び」を柱とする教師像。
a) 自ら重点を置くべき教科を定め、継続して自己研鑽に努める。
b) 教科部会にて、カリキュラムマネジメントを生かした教育課程を編成する。
c) ブロック単位での校内研究とICT活用を柱に、日々の授業実践力を高める。 |
| ② 「唯師」 について → 「いちばん星(将来像)」を引き出す教師像。
a) それぞれのいちばん星(児童・保護者・地域・学校)を見つける継続的な指導。
b) 個々のニーズに応じた、組織的な支援体制と関係諸機関との連携に努める。
c) |
| ③ 「相師」 について → 「学び合い、認め合い、高め合う集団」を目指す教師像。
a) 各児童集団に適した、低・中・高ブロックを中心とした組織的な指導の充実。
b) 幼保小連携や小中一貫教育等、異学年や校種間連携を生かした継続的な指導。
c) |
| ④ 「律師」 について → 「きまりの意義理解と規範意識の醸成」を目指す教師像。
a) 教育公務員としての自覚をもち、組織の一員として自分の役割を果たす。
b) “生きる力”を体現する、魅力ある大人としてのロールモデルを意識する。
c) 決まりの意義を理解し、自主自律の精神と集団活動での協調性を育成する。 |

- ⑤ 「健師」について → 「健康の保持増進と体力向上」を生活の柱とする教師像。
- a) 食育・健康教育を通して、心身の健康の理解と維持管理の意識を高める。
 - b) 外遊びの奨励等、運動に親しむ機会を増やし、児童の体力向上に努める。
 - c) 自然と生命を大切にすると共に、自分の身を自分で守る力を育む。

(3) 見える化 “5つの学校像”

- ① 「浦小スタイル」が見える学校 → 学校教育目標の実現を目指す学校。
- a) “目標”の見える化、短・中・長期の目標を設定し、実現に向けて実践する。
 - b)
 - c)
- ② 「いちばん星」が見える学校 → 児童の可能性を引き出す目標がある学校。
- a) “いちばん星”の見える化、10年後の自分をイメージできる児童を増やす。
 - b)
 - c)
- ③ 「生きる力」が見える学校 → わかる・できる喜びと自己肯定感を育む学校。
- a) “わかる” “楽しい” 授業の見える化を推進する。
 - b) 自己肯定感の前段階として、自己有用感の醸成を具体的に進めていく。
 - c)
- ④ 「共創共育」が見える学校 → 手を繋ぎ、地域と共に成長する学校。
- a) 学校だより、ホームページ、意見交換等を通して「見える化」を推進する。
 - b) 地域・保護者と共に、実態のある学校運営協議会を「共創」する。(元気会議)
 - c) 浦賀小学校の一員として、公務ではないが大切な地域活動に貢献する。(自主性尊重)
- ⑤ 「安全安心」が見える学校 → 生命を尊び、生命を守る学校。
- a) 児童・保護者・地域と共に、児童の安全安心な教育環境を整備する。
 - b) 防災計画・訓練等、防災管理と組織活動を常に見直し、危機管理能力を高める。
 - c)

3. 本年度重点目標 ※いちばん星一覧表（短期・中期・長期目標）作成予定【児童】

- ① 自己有用感を意識し、目標を持つ。
 - ・ 個々の長期目標を意識できる。(めざそう！一人ひとりの“いちばん星☆彗”)
 - ・ **忘れ物、遅刻、登校しぶりの削減**に取り組む。
- ② 自己表出手段を意識できる。
 - ・ 自分に適した自己表現方法を知り、実現する力の体得に取り組む。
- ③ 相手意識を持ち、適切な自己主張と主体的な行動について知る。
 - ・ 「自分たちで、この浦賀小学校を作っていくのだ！」という主体的な意識を育む。
 - ・ アサーションの考え方を知り、児童の相手意識の向上に取り組む。
- ④ SDGsに関する意識を持つ。
 - ・ 代表会議等の児童会活動を活用し、浦賀小学校の児童として、地域と共に活動できるSDGs（持続可能な開発目標）について考える。

【地域・保護者】

- ① P T A活動と地域との連携を図り、学校サポーターとしての共働に繋げていく。
(P T C A = Parent, Teacher, Community, Association)
 - ・「総合的な学習の時間」等を活用し、地域と児童との交流機会を増やす。
- ② 共に学校を創り、共に育てゆく意識を持つ。
 - ・学校だより、学校ホームページ等を通して、「見える化」を推進する。
 - ・共創共育の意識定着を図ることで、課題解決のための連携強化を図る。
- ③ 共に学校を創る機会と、具体的な場所を設定する。
 - ・評議員と共に元気会議を開催し、共創共育元年とする。
 - ・実態のある学校運営協議会の設置に向けて、地域・保護者と共に検討する。

【学校・教職員】

- ① 実態の見える『働き方改革』として、教職員の意識改革から始める。
 - ・校務の効率化を図り、児童に向き合う時間を増やす。(授業、遊び・相談)
 - ・業務に対する優先順位を組織的に考え、再構築する。(取捨選択の意識)
 - ・時間の有効活用を意識する為に、退庁時間と業務内容の把握を検討する。
- ② 有効なブロック運営の在り方を探る。
 - ・学年、ブロックでの交換授業やチームとしての児童指導等の実践に取り組む。
 - ・各児童集団に適した、低・中・高ブロックを中心とした組織的な指導の充実。
- ③ 実効性のあるカリマネ開始。
 - ・「総合的な学習の時間」を柱としたカリマネの骨子を作成する。
 - ・カリキュラムマネジメントを生かした教育課程の編成に全体で取り組む。
 - ・幼保小連携や小中一貫教育等、異学年や校種間連携を生かした指導の充実。
- ④ 個の教育的ニーズに応じた組織的支援教育。(いちばん星を見つけよう＝将来像)
 - ・地域・学校の実態、児童の発達段階や特性を把握し、個々の将来像を見据える。
 - ・個の児童への理解を深め、将来を意識した指導や支援を保護者と共に構築する。
 - ・児童・安全グループを中心とした組織的な支援体制と関係諸機関との連携。
- ⑤ 学習環境整備とICT活用の定着。
 - ・教室や特別教室の整備、ICT等、教材・教具の効果的活用に努める。
 - ・浦賀小学校教育スタイルとしての、「授業スタイル」の在り方を構築する。
 - ・評価に繋がるテストの在り方について明文化し、ルールを全体で共有する。
 - ・CromeBookの扱いに慣れると共に、双方向ICTの可能性を探る。
 - ・校内研究で取り組むICT活用を中心に、授業実践に役立つ力を獲得する。
- ⑥ 安全・安心な教育環境の整備を推進する。
 - ・児童・保護者・地域と共に、児童の安全・安心な教育環境を整備する。
 - ・防災計画・訓練等、防災管理と組織活動の充実を図り、危機管理能力を高める。
- ⑦ 計画的な施設修繕計画の作成。➡「浦賀小学校教育環境整備長期計画」を作る。
 - ・長期的な視野に立ち、施設面の課題を整理し、修繕のロードマップを作成する。
 - ・不用品等の整理をすることで、学習環境の向上を目指す。
- ⑧ その他(公務ではないが大切な地域活動に、教職員も可能な範囲で参加する。